

尼崎青少年創造劇場のサウンディング調査実施結果

1 参加事業者数 3者

2 サウンディング調査結果の概要

サウンディング調査において、参加事業者からいただいたご意見等の概要は以下のとおりです。

指定管理期間について
①長期的な施設運営をプランニングしたいが、指定管理期間が5年間では短い。
②初年度から自ら企画した公演を行うことはできないため、初年度のあり方が課題。
③指定管理の公募にあたっては、前管理者からの引継など、年単位での準備期間を含めた公募期間を設定してほしい。
施設修繕について
①築年数が古いため、頻繁に施設修繕が必要となりコストカットが難しい。
人件費について
①県派遣職員が引上げになるため、その分の人件費が必要となりコストが高む
指定管理について
①劇場、劇団、学校の三位一体の運営の必要性は分かったが、民間企業が担うにはハードルが高いと感じる。
②公的施設の運営は社会的に信頼を得ることができるため、会社としては是非参入したいが、ハードルが高い。
③現状問題なく運営しているのであれば、指定管理制度に参入する余地はないかもしれない。
④劇団だけではなく、学校運営など人材育成の仕組みもあり素晴らしい。
⑤劇団運営を前提とした事業実施は提案の余地が少なく、難しい。
⑥指定管理料は燃料費の高騰を考慮した金額に見直してほしい。

担当者：県民生活部芸術文化課 山内、柴田
TEL：078-362-3146
メール：geijutsubunkaka@pref.hyogo.lg.jp